

認知症に関する活動計画(概要)

福島県作業療法士会では、介護保険部が窓口となり、様々な部局や各支部と協力して認知症に関する活動を進めている。

2023年度は

- ①県士会員へ地域活動への関与に関するアンケートを実施する
- ②人材育成研修会(認知症対応力向上研修、認知症サポーター養成講座、認知症初期集中支援チームとチーム・オレンジにおける作業療法士の活動・役割)を開催するの2点を計画し取り組んでいる。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

県士会事務局より県士会員へアルツハイマー・デーに関する情報を提供している。

図や写真

認知症の人と家族の会との連携事業

2023年度活動計画①にある地域活動への関与についてアンケートを実施した結果、認知症の人と家族の会との連携を確認できなかった。今後、連携を構築する活動に取り組んでいく必要性を感じた。

図や写真

福島県士会の取り組み

- ・会津支部では県士会支部活動として認知症カフェを運営してきたが、COVID-19の影響で中断を余儀なくされている。会員所属機関の考えや地域のニーズ、各支部活動との兼ね合いなどを見定め、今後の活動について検討を進める。
- ・福島県認知症介護実践者等養成研修の指導者に士会員が3名登録している。
- ・福島県認知症施策推進協議会構成団体の一つとして士会から協議委員を派遣し、県の認知症施策について協議している。

図や写真

COVID-19の影響・対応など

感染対策で取り入れたリモートなどの新しい事業の在り方と人と人が会うからこそ得られる「ふれあい」、両方の特性を上手に生かしていきたい。

2023年度の人材育成研修会は対面型の研修会とし、同時配信することでリモートでの参加も可能とした。

図や写真